


ふりがな	やながわ としひさ	
氏名	柳川 十糸久	
企業名 (所属)	柳川中小企業診断士事務所	
URL	https://yanagawa-firm.com/	

①専門分類

1. 生産管理

2. 経営全般（工業）

3. 財務・税務

4. 経営品質向上

その他場合

②主な職歴

前職は機械工具卸売商社に勤務し14年の営業を経験し、主に新規顧客開拓に従事。その後の7年、責任者として株式上場準備に携わりJASDAQ上場に成功。その後の5年は切削工具の営業部門取締役役に就任する。令和3年に役員を辞任し、中小企業診断士の資格で独立開業する。個人事務所として、また奈良県よろず支援拠点のコーディネーターとして、中小企業の経営支援に従事している。

③専門分野

- ①財務：管理会計の導入、部門別・製品別予算管理の導入、資金繰り予測の支援
- ②経営：経営計画・事業計画の作成支援、単年度予算作成の支援、月次決算の導入支援、経営管理のPDCAサイクル導入支援
- ③生産：原価把握・原価管理の整備、材料、労務、経費の把握とコントロールの体制整備
- ④労務：人事評価制度の作成、目標管理制度の運営、評価管理者向け研修

④資格等

中小企業診断士：令和3年4月登録

日商簿記2級：2020年11月15日合格

⑤自己アピール

PRポイントは以下の2つ。1つ目はコンサルティングの進め方です。前職は機械工具卸売業の専門商社に勤務し、営業マンとして多くの中小の工具販売店社長と接してきました。営業スタイルも、社長の困り事を聞き出し、解決策となる商品を勧める提案型営業でした。今は中小企業診断士となりましたが、同じスタイルで経営者にヒアリングし、解決策を提言する伴走型支援ができます。

2つ目は、コンサルティングの商品です。IPO作業の中で身に着けたのは、組織的な経営体制を具体的に整備する実作業でした。中小企業のワンマン経営は意思決定が速い特長がありますが、一方で勤と経験と度胸に偏った経営になりがちです。企業が成長を続けるには、トッパー人の能力に依存するのではなく、中長期の組織ビジョンに向かって愚直にPDCAサイクルを回す経営管理体制の構築が重要です。IPO経験を活かし、実務面での具体的な経営管理の導入支援ができます。